

	世田谷区立砧中学校 校長室だより 令和4年 6月27日 第 19 号 校長 大坂 崇		教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
	社会性の学び		知的な学び	心と体の学び	
	自他の尊重 地域貢献		主体的な学び 学習の定着	心身の健康	

手段と目的

手段を目的化しない

1 各教科の目標（例：数学）とそのための手段

観点	知識・技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
目標	数学的な見方・考え方を働かせ①、数学的活動を通して②、 数学的に考える資質・能力を育成する③ことを目指す。（以下の3つの柱）		
	<u>3つの柱1</u> 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	<u>3つの柱2</u> 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	<u>3つの柱3</u> 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
手段	(例) ・正負の数の様々な計算をする ・一次式の計算をする ・方程式を解く ・基本的な作図をする ・立体の表面積・体積を求める など	(例) ・正負の数を具体的な場面に活用する ・一次式の計算方法を考察する ・表面積・体積の求め方を考察し表現する など	

2 目標の前提となる留意事項（例：数学）

① 数学的な見方・考え方

「事象を、数量や図形及びそれらの関係等に着目して捉え、論理的、統合的・発展的に考える」
 統合的・発展的に考えることを重視

② 数学的活動

「事象を数理的に捉え、数学の問題を見いだし、問題を自立的、協働的に解決する過程を遂行する」こと
 数学的活動における問題発見・解決の過程

(1) 日常生活や社会の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決し、解決過程を振り返り得られた結果の意味を考察する過程

(2) 数学の事象から問題を見いだし、数学的な推論などによって問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察する過程

③ 数学的に考える資質・能力

「何を学ぶか」「何ができるようになるか」という観点から整理された育成を目指す資質・能力
 数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通して、3つの柱をバランスよく育成することが必要

3 何のためかを見失わない = 手段と目的の明確化

目的は、「生徒一人一人が、目標に対して不十分な点を学ぶ」

にもかかわらず、いつも「全員一斉に同じ宿題で家庭での演習」、では「手段が目的化」！！

* 理解できている生徒はやる必要はない（わからない生徒の個々に合わせた補充）